

介護分野におけるオープンイノベーションによる課題解決に関する研究協定 （「ケアテック・オープン・ラボ横浜」） A I を活用したケアプラン作成支援実証実験の成果を発表

「介護分野におけるオープンイノベーションによる課題解決に関する研究協定（以下、「研究協定」という。）」に伴う取組の一つとして、株式会社ウェルモ（代表取締役：鹿野 佑介、所在地：東京都千代田区、以下「ウェルモ」）が、A I を活用したケアプラン作成支援A I 「ケアプランアシスタント」を用いて、令和元年12月に「A I を活用したケアプラン作成支援実証実験」を行いました。

実証実験は、令和元年度厚生労働省老人保健健康増進等事業「A I を活用したケアプラン作成支援の実用化に向けた調査研究」（実施主体：株式会社N T Tデータ経営研究所）の実証の一環として実施し、この度、調査研究事業の報告書が公開されました。

【実証実験概要】

〔日時〕

令和元年12月20日（金）

〔対象者〕

横浜市内の事業者から公募したケアマネジャー 39名

〔内容〕

ケアプランの一部を2種類の方法で作成して比較し、効果検証を実施。

（方法1）A I 「ケアプランアシスタント」を活用して作成

（方法2）従来通りA I を活用せずに作成

〔結果要旨〕

●業務時間の短縮：A I を活用した場合、作成時間が約35～40%短縮された。

●業務負担の軽減：文章案や医療知識等の提示により、7割近くのケアマネジャーが情報収集等の負担軽減を感じた。

●新たな視点の獲得：提示された医療知識から、6割近くのケアマネジャーが新たな視点を得る傾向が見られた。

※結果の詳細、ケアプラン作成支援A I 「ケアプランアシスタント」の詳細については、株式会社ウェルモの資料をご覧ください。

◆老健事業報告書（N T Tデータ経営研究所）

URL：<https://www.nttdata-strategy.com/roken/index.html>

お問合せ先

【実証実験に関すること】 健康福祉局高齢在宅支援課長 水野 直樹 Tel 045-671-2368

【研究協定や地域包括ケアの推進に関すること】

健康福祉局地域包括ケア推進課長 喜多 麻子 Tel 045-671-2439